

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	(「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	福島第一原子力発電所 放射性廃棄物の除去システム
御提案者	James H. Hara
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>23年の日本の造船と25年の米国の海運事業の多様な経験をベースにした独自の事業開発手法「経験のリサイクル」に従って、仮想的な除去システムを創出し、シナリオ化に至った所です。</p> <p>報告書の内容には技術的な特徴は無いにしても、この様な緊急性に対する管理体制を開発構築するのに戦略的な有効性を醸し出す事項が含まれていると考えます。</p> <p>要するにこの機に於いて「行動の源を創出する環境」がシナリオ化の最大の条件だとした内容にしました。</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)</li> </ul> <p>現場実績や他産業への事業開発などの実例は、その都度報告内に記述しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発・実用化に向けた課題・留意点</li> </ul> <p>この件に関しては、先ず担当の方が、米国スタイルの開発事業を見聞なされるコトが良策と思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等)</li> </ul> <p>「特殊船」の設計コンセプトや荷物(ココでは放射性汚染水)の集配計画などのノーハウに関する特別な考慮が要求される部分も在ると思います。</p>	